

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	邦舞
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	4企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしきがいしゃぼつくすよろづや		
	制作団体名	株式会社BOX4628		
	代表者職・氏名	代表取締役 滝沢直也	団体ウェブサイトURL	
			http://box4628.jp/	
	制作団体所在地	〒 171-0014	最寄駅(バス停)	東京メトロ 要町駅
		東京都豊島区池袋3-1-12-702		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	おきげいだいりゅうきゅうげいのうせんこうおーびーかい		
	公演団体名	沖芸大琉球芸能専攻OB会		
	代表者職・氏名	会長 玉城和樹	団体ウェブサイトURL	
			https://www.instagram.com/geidaio/?hl=ja	
	公演団体所在地	〒 901-2122	最寄駅(バス停)	勢理客
		沖縄県浦添市勢理客2-18-1-202		
	制作団体 設立年月	平成27年 4月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		・代表取締役:滝沢直也 伝統芸能プロデューサー 伝統芸能舞台監督 ・取締役:榎本かおり 経理・制作・顧問 ・相談役:織田紘二 元国立劇場理事 ・顧問:廣木雅之 行政書士 ・相談役:川満香多 琉球舞踊・組踊立方・ 相談役:大城建大郎 琉球古典音楽演奏家 沖縄県立芸術大学 非常勤講師 沖縄伝統組踊子の会 会長	・組踊・琉球舞踊 立方:30名 ・琉球古典音楽 演奏家:30名 ・琉球芸能有識者:2名・制作 ・推進スタッフ:2名 ・照明スタッフ:3名 ・音響スタッフ:3名 ・大道具製作 ・小道具製作スタッフ:3名 ・舞台美術家(装置):3名 ・衣装スタッフ:2名 ・床山・かつらスタッフ:2名 加入条件:当団体の活動に賛同し、 伝統芸能に携わる実演家や有識者、 また舞台芸術技術スタッフ	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	榎本かおり
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	税理士 大塚康正 (おおつか税理士事務所)

本応募にかかる連絡先	メールアドレス	電話番号
	<a href="mailto:box4628_nk@yahoo.co.jp">box4628_nk@yahoo.co.jp</a>	0369070569

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く</p> <p>2015年 法人格を取得、株式会社BOX4628</p> <p>2015年 日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める2017年 「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」</p> <p>2018年 「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」</p> <p>2019年 「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」</p> <p>2020年 「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」</p> <p>2021年 「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体) 沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所</p> <p>2022年 「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」</p> <p>2023年 「令和5年度学校巡回公演事業」採択 沖縄伝統組踊「子の会」、沖縄大琉球芸能専攻OB会</p> <p>2024年 「令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」、沖縄大琉球芸能専攻OB会、一般社団法人善竹狂言会</p> <p>2025年 「令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」、沖縄大琉球芸能専攻OB会</p>
	学校等における公演実績	<p>2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「狂言教室」6校、「落語教室」6校</p> <p>2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「狂言教室」4校、「落語教室」10校</p> <p>2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「狂言教室」5校、「落語教室」10校</p> <p>2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「狂言教室」3校</p> <p>2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」35校</p> <p>2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校</p> <p>2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校</p> <p>2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校</p> <p>2023年 組踊鑑賞会「執心鐘入」6校、「狂言教室」4校、「落語教室」2校</p> <p>2024年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」10校、「落語教室」6校</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」</p> <p>2018年 組踊鑑賞会「万歳敵打」 旭川養護学校 組踊鑑賞会「万歳敵打」 稚内市養護学校</p> <p>2019年 組踊鑑賞会「万歳敵打」 大阪府立富田林支援学校</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/FHXkbZPUm5c?si=GA1C75nVi2kHoN6K">https://youtu.be/FHXkbZPUm5c?si=GA1C75nVi2kHoN6K</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	




別添	あり
----	----

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

本公演・ワークショップ	対象	小学生(低学年)	-	小学生(中学年)	○	
		小学生(高学年)	○	中学生	-	
	企画名	おきなわ伝統芸能 組踊「黄金の羽釜 里川の子」 (くがにぬはがま さとうかわぬしー)				
	企画のねらい	<p>この企画では、沖縄の伝統芸能である組踊に触れ、楽しく学びを深めることを目指します。ワークショップを通じて基礎知識を習得し、本公演を鑑賞することで、子どもたちは沖縄独自の豊かな文化を肌で感じ、親しみを持つことができるでしょう。</p> <p>こうした体験を通して、地域や時代背景によって異なる言語や舞踊と演技、作品に描かれているものがたりのテーマ、独自の音楽性など様々な違いを知ることができます。また、現代との相違点や類似点を発見するきっかけとなり、子どもたちが多様な価値観に気づき、舞台芸術を通して社会視野を広げ、共存共栄することの大切さを知っていただきたいのです。</p>				
	演目概要・演目選択理由	<p>「黄金の羽釜 里川の子」</p> <p>【演目概要】</p> <p>里川の子夫婦は孝行の厚い2人で、生まれたばかりの赤子と80歳を過ぎた老母と共に暮らしています。農家を営んでいます。日照りが続いて作物が取れず、満足に食事を取ることさえ出来ません。老母は幼い子を哀れみ、自らの少ない食事から分け与えるような状態です。里川の子はそんな老母をみて「楽な暮らしをさせたい」と、思いあまって我が子を埋めてしまおうと考えます。ある真夜中、妻の乙鶴と我が子を連れて山へ向かいます。里川の子夫婦は、子ども眠りに就いたら埋めようと思いますが、一向に眠りに就きません。さてこの後どうなるのでしょうか。</p> <p>【演目選択理由】</p> <p>組踊を初めて知ってもらう上で、相応しい演目としました。</p> <p>「黄金の羽釜 里川の子」は、孝行心、親子愛をテーマとし、他者の気持ちを慮ることの大切さを伝える物語です。格差、分断の時代と言われる現代において、他者への優しさや思いやり、敬う心が希薄になりつつあります。そうした時代だからこそ、道徳教育にもつながる相応しい演目と考えます。また役柄も少なく、あらすじも分かりやすく理解しやすい演目でもあります。</p> <p>沖縄独自の伝統芸能「組踊」があることを児童・生徒のさんに知っていただき、あらためて自分たちの都道府県や地域の郷土芸能や、御祭りや年中行事との違いを知ることが出来るでしょう。</p>				
	児童・生徒の参加または体験の形態	<p>※番号は、本公演演目の番号と一致しています</p> <p>【第一部】</p> <p>1、・ごあいさつ 沖縄方言で「こんにちは」にあたる言葉として、男性は「ハイサイ」女性は「ハイタイ」と言います。参加者全員で元気よく言ってみましょう。</p> <p>・おきなわことばクイズ、沖縄県の方言を二択のクイズ形式で出題します。自分たちがクラス地域の言葉との違いを考えてみてください。</p> <p>・ワークショップの際に、お渡しした塗り絵をお預かりして、舞台背景の紅型幕と一緒に会場の舞台装飾とします。</p> <p>3、組踊「黄金の羽釜 里川の子」のあらすじ、役柄紹介を、代表児童・生徒さんに発表していただきます。役柄一人ひとりを登場させての紹介です。</p> <p>5、組踊「黄金の羽釜 里川の子」後半 代表児童・生徒に上演中の役者さんとの共演です。どんな会話になるか楽しみです。</p> <p>6、「子守節」の舞踊を、代表児童・生徒さんの演舞を発表していただきます。抱きかかえた我が子と別れなければならない、切ない母親の心情を表現していただきます。</p>				
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	500名程度		
			鑑賞人数目安	500名程度		

ツ  
プ  
の  
内  
容

本公演演目  原作/作曲 脚本 演出/振付	【第一部】 1、ごあいさつ、事業紹介、沖縄県の紹介、おきなわことばクイズ、塗絵(紅型デザイン)の紹介  2、地謡による楽器紹介  3、組踊「黄金の羽釜 里川の子」のあらすじ、役柄紹介 (児童・生徒の参加)  4、組踊「黄金の羽釜 里川の子」 前半  【第二部】 5、組踊「黄金の羽釜 里川の子」 後半  6、「子守節」の舞踊 (児童・生徒と共演演舞)  7、カーテンコール、感想発表や質問コーナー  ※学校のご要望に沿って、記念撮影・お礼の言葉など適宜対応いたします ※別添-1:本公演演目参照					
	公演時間		90	分		
	【出演者】 沖縄大琉球芸能専攻OB会会員  ・組踊立方 高里風花、阿嘉 修、花岡貴子、東江裕吉、新垣 悟、伊佐幸子、伊波 妙、知花小百合、嘉数道彦、佐辺良和、西村綾織 池間隼人、岸本隼人、川満香多、謝名堂奈津、古謝渚、仲里綾香、宮崎花澄、比嘉大志、玉城匠、仲嶺夕理彩、知念亜希ほか  ・琉球古典音楽演奏家 花城英樹、よなは徹、比嘉千咲、宜保和也、横目大通、新垣俊道、島袋奈美、玉城和樹、平良大、大城貴幸、澤井每里子、徳田泰樹、大城建太郎、亀井美音、池間北斗、細川拓実、波平宇宙、下地綾香、林杏佳、喜友名可奈子、大城希里、中村優希、ほか					
出演者						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	玉城和樹	琉球古典音楽安富祖流絃聲会師範、沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科舞台芸術専攻修了、国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了、沖縄大琉球芸能専攻OB会会長				
	嘉数道彦	宮城流能里乃会師範、沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科舞台芸術専攻修了、公益財団法人国立劇場おきなわ芸術監督(2013～2022年)、沖縄県立芸術大学准教授				
	高里風花	宮城流豊舞会、沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科舞台芸術専攻修了				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 12 名		運搬		積載量: 2 t	
スタッフ: 5 名		車 長: 4.7 m				
合 計: 17 名		台 数: 1 台				

<b>本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度			
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出			
	9時30分前後	9時30分～11時30分		13時30分～15時	10分	15時～16時	16時			
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。									
<b>本公演 実施可能日数 目安</b>  ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月			
	15日		15日		15日		15日			
	10月		11月		12月		1月			
	15日		15日		15日		15日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		120日			
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">親子三人の様子</div>  <div style="margin-bottom: 10px;">途方に暮れる、里川の子</div>  <div style="margin-bottom: 10px;">物語の終盤の様子</div>  </div>										
<b>公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)</b>  ※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし		該当コンテンツ名				
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況					

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

沖縄大琉球芸能専攻OB会

】

ワークショップの  
ねらい

琉球国時代に生まれた組踊は、沖縄独自の伝統芸能です。  
このワークショップでは、組踊の歴史や成り立ち、どのような特徴があるかを学ぶだけでなく、実際に体を動かす様々な体験を通して、子どもたちが組踊に親しむきっかけとなることを目指しています。本公演で鑑賞する組踊「黄金の羽釜 里川の子」の一部を体験、鑑賞することで、児童・生徒は踊りの動きや手の使い方、歩き方など様々な表現方法を体験的に学ぶことができます。これらの体験を通して本公演をより深く楽しむための準備となる学びと体験の時間にしたいと考えています。  
伝統芸能は「なんだか難しそう」と思われがちですが、初めての出会いが非常に大切だと考えています。このワークショップが終わる頃には、「難しい」と思っていた気持ちが「楽しい！」に変わることを目指しています。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

300名程度

ワー  
ク  
シ  
ョ  
ッ  
プ  
の  
内  
容ワークショップ  
実施形態及び内容

- ◆ワークショップ開始前の準備  
ホワイトボードもしくは黒板に、団体名、参考資料などテキストを貼っておきます  
展示物：三線、四つ竹、カンカラ三線  
指導者は着物に着替え、児童・生徒をお迎えします
- 【1単位目(1コマ)】 時間40～50分
- 「ご挨拶、礼儀作法と導入説明」
    - ・ワークショップを始めるにあたり、伝統文化に触れる上での礼儀作法の大切さについてお話しします。
    - ・伝統芸能は、人から人へ受け継がれてきました。そうした先人への感謝の気持ちを込めて、あらためて姿勢を正してご挨拶を行います(例:「よろしくお願いします」)。
    - ・指導者が、名前と役割を紹介します。続いて本事業の紹介と、ワークショップで学んでいただくことを、プログラム順にご紹介します。
  - 「組踊を知る」  
組踊は、沖縄独自の伝統芸能です、成り立ちや歴史的背景、演劇的、舞踊的な特徴やテーマの違いをお伝えします。また組踊の3要素「唱え」「音楽」「踊り」を紹介します。
  - 「楽器紹介」  
組踊の上演において重要な役割を担う音楽に焦点を当て、その中心である三線の伝来や歴史、特徴を紹介した後、組踊「黄金の羽釜 里川の子」の劇中に演奏される曲を鑑賞していただきます。
  - 「組踊体操」  
体を動かす準備運動、音楽に合わせて体操しましょう。
  - 組踊「黄金の羽釜 里川の子」の鑑賞と体験  
「黄金の羽釜 里川の子」のあらすじを紹介します。  
「黄金の羽釜 里川の子」の抜粋を鑑賞していただきます。  
役柄による構えを体験  
三線の演奏に合わせて歩みを体験  
役柄による唱えを体験
  - 「ワークショップの振り返りとご挨拶」
    - ・1単位目のワークショップを振り返り、感想や質問を聞かせてください。
    - ・ワークショップの最後に、姿勢を正してご挨拶をして終了します。



	<p>【2単位目(1コマ)】 時間40～50分</p> <p>●本公演での共演・参加に向けた、より実践的な練習と準備を行う時間です</p> <p>Aチーム 本公演演目 組踊「黄金の羽釜 里川の子」の練習です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒は足袋を履いてもらいます</li> <li>・「黄金の羽釜 里川の子」演舞発表シーンを鑑賞していただきます</li> <li>・歌詞の意味から感情表現を考えましょう</li> <li>・歩み、舞踊を繰り返し練習します</li> <li>・通してリハーサルをします</li> </ul> <p>Bチーム 「黄金の羽釜里川の子」のあらすじ、役柄の紹介の練習です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらすじを話す人、役柄一人一人を紹介する人にそれぞれに分かれて練習します。</li> <li>・最後に通してリハーサルをします。</li> </ul> <p>Cチーム 「紅型の塗り絵」制作の時間です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組踊と紅型の繋がりについてのお話をした後、2種類の塗り絵から好きなものを選んで制作してください。Cチームの皆さんの塗り絵は、本公演当日舞台装飾として飾らせていただきます。</li> </ul> <p>ワークショップ参加者以外の児童生徒さんもご参加頂けます。</p> <p>●ワークショップを振り返り</p> <p>2単位目のワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせて下さい。</p>
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップで、学んだことや体験したことを各教科の学びに活用いただけるワークシートをお渡し致します。</li> <li>・本公演演目で使用される音楽を収録したCDをお渡しします。 (給食や掃除の時間などに校内で流してください)</li> <li>・ワークショップ参加の整列隊形は、普段行われている通りで結構です。</li> </ul> <p>組踊について、国立劇場おきなわのホームページから、以下のサイトをご紹介します。・  <a href="https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/kumiodori.html">https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/kumiodori.html</a>・  <a href="https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/kumiodori">https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/kumiodori</a>・  <a href="https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc19/index.html">https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc19/index.html</a></p>

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。  
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。  
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。  
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。  
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。  
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。  
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。  
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		60 A以上	
舞台設置面積		間口	5.4 m	奥行	3.6 m		
		高さ	条件なし m				
舞台設置場所		フロア対応	可		学校のステージでの対応		可
搬入間口の広さ		幅	1.7 m	高さ	1.7 m		
遮光の要否		遮光要件なし		緞帳の要否		不要	
ピアノの使用について		使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			
				ピアノを使用しない場合の移動の要否			
搬入車両(トラック等)の横づけ		横づけ要件なし		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		m以内	
搬入車両の種類		中型トラック		台数	1 台		
搬入車両の大きさ		車幅	2 m	車長	4.7 m		
備考							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	不要	



時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒		ワークショップの2単位目(2コマ目)	・舞踊の練習 ・役柄紹介の練習	
ワークショップ						
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒		本公演当日の午前中	・舞踊のリハーサル ・役柄紹介のリハーサル		
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		



別添

なし

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

組踊は地域固有の伝統芸能で、その鑑賞機会が極めて限定的です。だからこそ、子どもたちにとってこれらの芸能との最初で最も印象深い出会いとなることを目指します。私たちは、本事業を通じて、子どもたちが組踊という沖縄独自の伝統芸能に深く触れ、心豊かな体験を得ることを最も重視します。また、子どもたち一人ひとり「誰もが取り残されることのない」学びと感動の機会を提供することを使命としています。

私たちは、組踊が持つ美しさや歴史的背景に加え、その根底に流れる日本文化特有の「型」「間」「礼」の精神を大切に伝え、ワークショップにおける丁寧な指導と実践を通して、子どもたちが日本人としての美意識や規範意識を体感し、この事業全体が伝統芸能の普及・振興に加え、次代を担う子どもたちの内面に日本人のアイデンティティの種を蒔き、未来へと繋ぐ強い使命感のもと、謙虚かつ真摯な姿勢で実施することを目指します。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

ワークショップでは、単に知識を伝えるだけでなく、出演者自身が積極的に子どもたちとコミュニケーションを図りながら、五感を使い体を動かす体験を促していきます。これにより、歴史や特徴といった座学的な学びが、実際の踊りや所作、セリフ、そして音楽に触れる立体的な体験へと昇華され、子どもたちが伝統芸能を「楽しい!」と感じ、自ら親しむきっかけを創出するでしょう。

また、ワークショップでは従来の鑑賞や実演体験に留まらず、子どもたちが主体的に参加できる多様なアプローチを重視しています。具体的には、紅型(びんがた)の塗り絵といった創造的な活動を取り入れます。これにより踊りや演技に興味を持つ子どもはもちろん、絵を描くことやものづくりに興味がある子どもも、それぞれの関心から沖縄の文化へと自然に親しむことができます。

ワークショップの際に本公演で演奏される音楽を収録したCDをお渡しします。給食や掃除の時間などに校内で流して頂くことで本公演までに子供たちが耳馴染みとなるような取り組みとなります。

そして本公演では、ワークショップで培った基礎知識と実践的な体験を土台として、子どもたちが自身の豊かな想像力を最大限に働かせ、舞台芸術を鑑賞する時間と位置づけます。出演者は、日々の研鑽を積んだ「本物の舞台芸術」を披露することで、子どもたちにとって生涯忘れられない貴重な出会いの場となるよう、真摯な姿勢で舞台に臨みます。

こうしたことから、子どもたちが伝統芸能の奥深さに触れ、文化への敬意と感動を育むとともに、鑑賞力を養う機会を提供することに、私たちは全力を注いで参ります。

## 【学校との連絡調整について】

当方の担当者より、学校ご指定のメールアドレスへ、ワークショップ・本公演それぞれの内容や確認事項についてまとめたシートをお送りし、その後に実施校に御電話をします。その際にご担当の先生に繋いでいただけるベストな時間を伺って、以降はそのタイミングに御電話します。初めての開催学校やご担当の先生には本事業についてのご説明もさせていただきます。

本公演開催日、ワークショップ開催日の日程調整はアンケートフォームをお送りし、手間をお掛けしないように致します。日程調整の際に学校行事、学校周辺の環境や天候などにつきましても詳しく伺い、コミュニケーションを図りながら信頼関係を築いていきます。御電話でお話した内容は確認の為、あらためてメールでお送りします。

速やかな連絡体制として固定電話、携帯電話、固定電話の携帯電話への転送、メールなどでご対応いたします。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

ご担当の先生から、対象児童生徒の学校の様子や環境、普段ご留意されて取り組まれている対応や行動を詳しく聞かせていただき、ワークショップ、本公演で学校に伺う前に出演者とスタッフで共有し取り組ませて頂きます。

特別支援学校への取り組みとしては、初めにご担当の先生から詳しく環境や状況をお聞きしたうえで、ワークショップ、本公演の開催の様子をご確認いただき、難しい取り組みなどがあれば事前に取り組む方を変えるように準備致します。また過去に本事業において当方の取り組みなどもお伝えして、安心してワークショップ、本公演を開催できるよう致します。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップ後に、ワークシートとCDをお渡ししています。これらは本公演後にも教科の学びに活かしていただける内容になっています。教室に掲示していただいたり、先生方の補助教材としても継続的に沖縄の芸能に触れて頂けます。

別添

なし

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績	2019年 琉球舞踊公演 2公演(伊平屋村我喜屋区、伊是名村伊是名区)
②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫	<b>【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台装置として、児童・生徒さんに色を塗って頂いた、紅型の塗り絵を舞台美術の装飾に加えます。</li> <li>・ワークショップ、本公演を同日開催で実施できます。</li> <li>・ワークショップ、本公演ともに、ステージを使わず、フロアで公演できます。</li> </ul>
	<b>【質を保つための工夫】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組踊の監修者を立てます。</li> <li>・沖芸大琉球芸能専攻OB会の会員で、沖縄県立芸術大学、琉球舞踊組踊コース、琉球古典音楽コースを修了した人材から本企画に相応しい人材を選出し、ワークショップ、本公演の質を担保致します。</li> <li>・ワークショップ、本公演いずれも、組踊の監修者の立会いのもと事前に必ず通しリハーサルを行います。</li> <li>・過去に本事業に、参加実績のある出演者を優先的にキャスティングし、初めての参加者を加え本事業の趣旨に相応しい立ち居振る舞いを徹底致します。</li> </ul>
③特別エリア区分応募における、費用面の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明機材持ち込まないことで、照明機材費、照明スタッフ人件費の費用を抑えることができます。</li> <li>・一般的な組踊の公演の際の地謡は、歌三線3名、琉箏、胡弓、笛、太鼓各1名で行いますが、歌三線を2名、胡弓は歌三線者兼ねて演奏できるように工夫することで、地謡2名分の出演費用を抑えることができます。</li> </ul>

## 幻の組踊

## 黄金の羽釜里川の子

1983年に松田区の幸地屋で発見された1冊の書物・・・  
それは「一八一八年写本」と記された組踊の台本でした。

そこには今も続く「本部大主」を含む5本の組踊が記されており、沖縄県内最古の組踊台本であることが確認されました。そして1984年には「旧古知屋村組踊写本」として宜野座村の有形文化財に指定されています。

今回、沖縄県立芸術大学大学院卒の惣慶区出身高里風花さんが卒業研究において、台本の一部が不明となっていた組踊「黄金の羽釜」から、残っていた間の者（マルムン）の台詞から消失部分の台本を補完、復元し、修士演奏会にて上演されました。

この組踊はこれまで県内での上演記録のない幻の組踊とされており、松田区芸能保存会では、本組踊の記録保存を目的としながら高里さんに松田区での公演をお願いし、修士演奏会にて出演していただいた立方、地謡の皆さんの賛同により今回の上演が実現しております。

## 作品との出会い

大学4年の夏、学芸員資格取得のため宜野座村立博物館で博物館実習を行った際に、組踊を学んでいるならと1989年に宜野座村教育委員会にて発行された「宜野座村字松田（古知屋）の組踊集（池宮正治編）」を紹介され、そこに掲載されていたのが「黄金の羽釜里川の子」であった。

現代では考えられない衝撃的な内容、台本がほとんど残っていないことなど、謎が多いこの作品に強く心惹かれた。宜野座村出身である私が、宜野座村に残る組踊に携わることを意味深く思い、ぜひこの作品を完成させて上演したい、多くの人に知ってほしいという思いが強くなり、大学院での研究、そして修士演奏会での上演を決めました。

沖縄県立芸術大学大学院 修士演奏会 研究発表資料より

## 演目概要

公演時のプログラム  
より抜粋



リンク先

No.2

【公演団体名

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

組踊  
「黄金の羽釜  
里川の子」

【一場】 里川の子夫婦は赤子と老婆と貧しい暮らしをしていました



【二場】 老婆を守るために思い余って我が子を埋めに山へと向かいます



泣く泣く埋める穴を掘っていたところ、黄金の羽釜を掘り当てます



【三場】 孝行の心はお役人にも認められ、豊かに幸せに暮らしました

